



平松 正人
誠友会
(30分)

生徒指導教育相談事業は

問 生徒指導教育相談事業の
取り組みは。

答 適応指導教室では、不登校
の児童生徒に居場所を提供し、集
団生活に適応できるよう学習や生
活の指導を行っている。スクール
カウンセリングプロジェクト事業
では、学校相談員が小中学校を訪



能宗 正洋
誠友会
(45分)

今後の公共交通への取り組みは

問 交通弱者対策は。

答 今年度、福山・笠岡地域公
共交通網形成計画を策定し、地域
実態や利用者ニーズを把握する中
で、乗り合いタクシーの導入効果
や他の先進事例を参考にし、住民
との協働により、地域の特性に応
じた公共交通への転換を図るなど

問し、生徒や保護者への面談等
を行っている。こうした取り組みに
より学校復帰するための準備や担
任と保護者がつながることができた。

**少年サポートセンターふくやま
との連携した取り組みは**

問 スクールサポーター制度は。

答 児童生徒が、安心して学ぶ
ことができる教育環境をつくるこ
とを目的とし、元警察官のスクー
ルサポーターが指導に苦慮してい
る教職員等に指導・助言等を行い
問題行動の未然防止に努めている。

日常生活を支える移動手段の確保
について検討していく。

空き家対策は

問 空き家対策の今後の取り
組みは。

答 県宅地建物取引業協会と協
定を締結し、この協定に基づき、
本市が所有者の同意を得た上で、
宅建協会に空き家情報を提供し、
宅建協会から所有者に対しニーズ
に応じたさまざまな提案を直接行
うなど、流通を促進することによ
り空き家の解消につなげていく。



藤原 平
誠友会
(45分)

**本年度の全国学力・学習
状況調査の結果は**

問 9月29日に公表された全
国学力・学習状況調査結果を教
育委員会はどう分析しているか。

答 小学校では知識・技能の定
着を見るA問題、知識・技能を活
用する力の定着を見るB問題が、
ともに全国平均を上回っている。



徳山 威雄
誠友会
(45分)

6月豪雨の水害対策は

問 ①6月豪雨で瀬戸川が増
水し広範に浸水したが、県が策
定した瀬戸川下流の河床掘削な
どが実施されていなかったこと
が原因ではないか。

②津之郷の谷尻、小森の一部で
の床上床下浸水場所が報告書の
図面に載っていないが把握して

中学校ではA問題、B問題ともに
全国平均を下回っている。小中学
校ともに知識・技能を活用する力
に課題があるという状況は、国・
県と同様に続いている。

昨年度からの小中一貫教育全面
実施に向けた、三年間の準備期間
から、各中学校区の全教職員が、
小中一貫教育カリキュラムの作成
に向けて交流・協議した結果、子
ども達の協働的な学びを促す授業
づくりへつながってきているが、
学力調査の正答率の向上に至って
いない。

いるのか。また、この地域の具
体的な対応は。

答 ①知事が、県管理河川で浸
水被害が発生し、市民生活に多大
な影響を及ぼしたことについて陳
謝された。

瀬戸川流域における治水対策検
討会で再度災害の防止のための具
体的対策がまとめられた。
②谷尻、小森地区は通報で現地確
認を行い、浸水状況を把握してい
る。次期出水期までに必要な対策
を講じる。